

# DX+

## クラウド型ストレージを 利用したBCP対策



Theme



Use Case



Reference  
Architecture





テーマ / Theme

ビジネスを加速させるための取り組みをご紹介

# クラウド型ストレージを 利用したBCP対策

クラウド/サーバー

ネットワーク

課題 / Issue

## BCPサイト構築にまで手が回らない

お客さまの個人情報など、機密性の高いデータは情報漏えいなどのリスクに備えてオンプレミスサーバー間でバックアップする設備構成が一般的だ。

しかし、情報システム部の限られた資源で、災害の激甚化・広域

化に備えた事業継続のための拠点(BCPサイト)の構築まで手が回らない企業・団体があるのが現状である。

また、BCPサイトを構築できた場合でも、バックアップデータの増大で、オンプレミスサーバー間の通信やサーバーそのものの費用が増大し続けるという問題に直面することがある。

概要 / Overview

## 機密性と費用低減を両立させたBCPサイト構築

オンプレミスサーバーにある機密性の高いデータを安全なVPN接続で安価なクラウド型オブジェクトストレージに保管することで、機密性と費用低減を両立させた遠隔のBCPサイトが構築できる。

災害などの有事の際には、機能を喪失していない拠点からデー

タを相互/中継接続基盤を通じてクラウドサーバーにリストア(再格納)すれば、容易にシステムを復旧して事業を継続できる。

クラウド型オブジェクトストレージは、バックアップデータの量が増加した場合にも、オンプレミスサーバーよりも増強が容易である。



## ユースケース / Use Case

テーマを実現による業務の変化・メリットをご紹介

### Use Case 01

## 災害時の事業継続

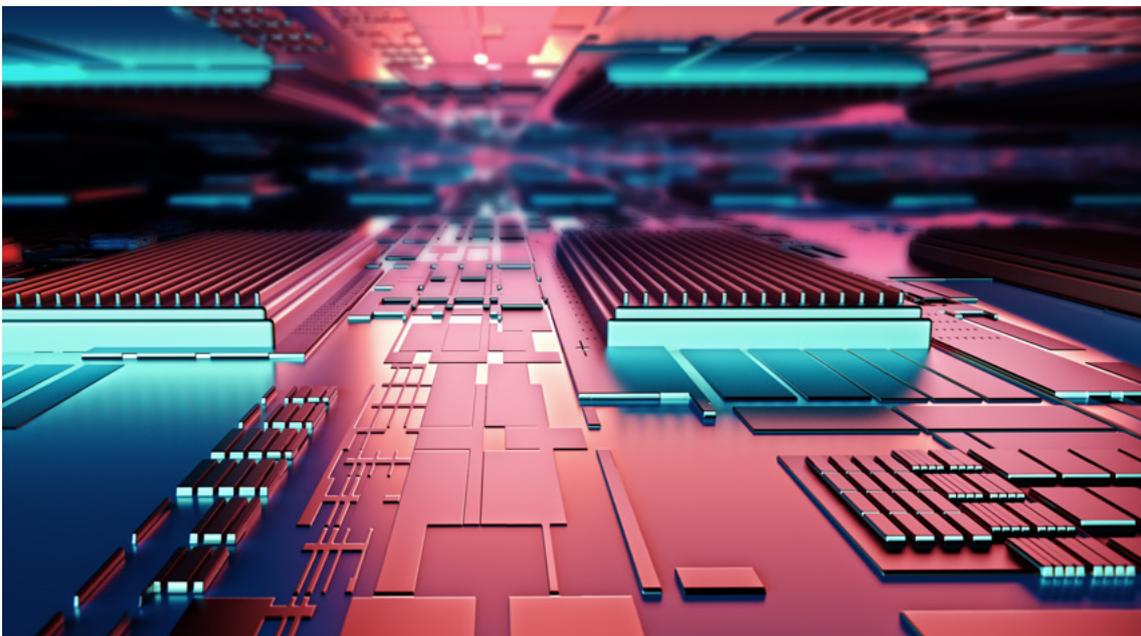
BCPサイトを構築することで、災害のときに事業継続の可能性を高められる。BCPサイト自体が被災しては意味がないため、クラウド型オブジェクトストレージ、クラウドサーバー、通信網の3者が堅牢な設備の上に存在していることが絶対的な条件となる。

### Use Case 02

## 大容量データの長期保管

本アーキテクチャは、安価なクラウド型オブジェクトストレージを利用するため、画像や動画など大容量のデータの長期間保管にも適している。

放送・配信のコンテンツだけでなく、監視カメラやドライブレコーダーの録画の保管にも利用でき、従来は古いものを削除せざるを得なかった動画を長期に保管できるようになることで、製造業、建設・不動産業などの技能継承、卸売・小売業、運輸・輸送業などの事業リスク低減にも貢献できる可能性がある。





## リファレンスアーキテクチャ / Reference Architecture

テーマを実現するシステム構成をご紹介

### アーキテクチャ上のポイント

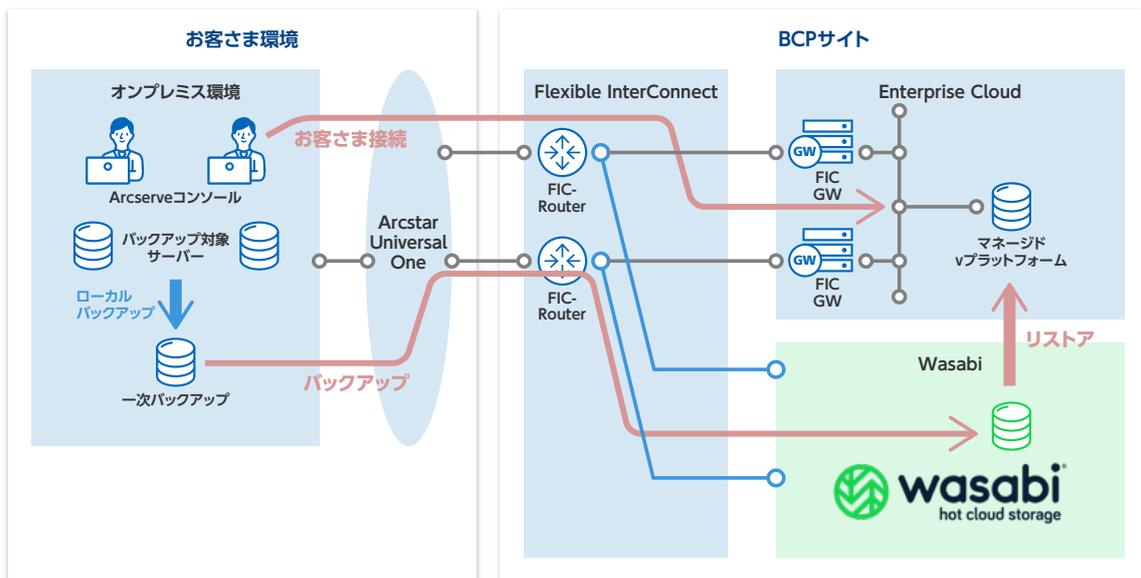
Point

#### 本構成のポイント

- オンプレミスにある機密性の高いデータを VPN 経由で低コストなクラウド型オブジェクトストレージに保管
- 災害などの有事の際にはクラウドサーバーにリストアしてシステムを復旧

#### 導入効果

- クラウド移行による安全な BCP サイトの構築
- 高信頼の VPN 接続によるセキュリティの確立
- 大容量データの長期間保管におけるコスト抑制



詳しくはこちら





---

本件の詳細につきましては、  
お気軽にNTTコミュニケーションズにお問い合わせください。

[お問い合わせはこちら](#)